

【3-1】日常生活支え合い実践事業

食支援サービス安心強化事業 (高浜町)

基礎情報

実施地域	高浜町全域
実施主体	高浜町社会福祉協議会
所在地	高浜町緑ヶ丘1-1-1
代表者	会長 内谷 周一



平成23年度の事業概要

ボランティアと社協職員が弁当・惣菜をつくり、高齢者、障害者宅へ食支援と安否確認を兼ねて配達する「食支援サービス」に新たに中温冷凍車を導入し、季節を問わずに安全に食を届けられるよう配達環境の改善を図りました。

現在の活動状況

ここ一年で食支援サービスの利用者の状況は、弁当が1日平均27名から38名、惣菜のみは1日平均59名から61名とそれぞれ増加傾向にあります。

配達ボランティアは個人4名と2団体の登録があり、常時平均2～3名程度が活動し、ボランティアでできない部分を社協職員が対応しています。

高齢者や障害者本人、ケアマネジャーにも必要とされ、利用は増加傾向にあり、そのニーズに対応しています。

土日の利用についてはニーズがあれば対応も可能です。

事業の実績、成果

温度調整可能な専用車両を使うことで作り手も利用者也安心して利用できるようになりました。

安定した3便体制になり利用者へより早く安全に配達できることと時間に余裕ができることで、これまでよりも利用者にゆっくりかかわることができるようになりました。

- ・平成23年度実績... 実施回数265回、利用者885名（延べ）
- ・平成24年度実績... 実施回数257回、利用者1,044名（延べ）
- ・平成25年度実績... 実施回数248回、利用者1,132名（延べ）※平成26年2月末実績

工夫した点

高浜、和田、青郷、内浦の4地区を2便体制から3便体制に改善。
配送ルートも、効率よく回れるように、地区のコース分けを調整しました。



事業の財源

平成23年度地域支えあい補助金を活用し、中温冷凍車を整備。
材料分は利用者の利用料から支出。
車両や光熱費などの経費は、社会福祉協議会の会費などの一般財源から支出。

課題

配達用車両3台のうち、温度管理できる専用の冷凍車は1台のみなので、残りについても整備していく必要があります。
また、利用者が増加しているので、ボランティアと調理・配達員の確保が課題です。

今後の目標

定期的な土日サービスの実施、栄養管理を強化し、栄養食のメニューも対応できるよう検討していきたい。

団体からのメッセージ



高齢、障害者の安否確認を兼ねている事業であるため、できる限りかわりを大切にしていく。
利用者から望まれる安全・安心にどこまで取り組めるかが大切であり、今後も追求して事業に取り組んでいきたい。